

# **<地域重点プロジェクト> 各プロジェクト(国)の概要**



## 国家的・広域的な課題

- 道北地域は、人口減少・高齢化率が全道平均よりも高い割合で推移し、後継者や担い手不足が一層顕在化している状況です。さらに感染症の影響により外国人労働力に依存する生産体制のリスクが顕在化しています。生産空間を維持し、我が国の食料供給基地として貢献していくためには、農地・農業用水の確保、水産資源の回復・管理、漁場整備、後継者・担い手の確保・育成、スマート農業等、我が国の食料安全保障を支えるイノベーションの加速による農水産業の振興、「食」の高付加価値化と総合拠点づくりを進め、北海道の高品質な農水産品や食品の輸出を一層促進し、地域内で持続可能な農水産業を構築する必要があります。また、地域内外の交流・協働を促進し、人口減少をカバーするとともに、多様な人材との対話をひき起こし、効率的・利便性の高い物流ネットワークの形成、ポストコロナを見据えた産業立地・振興を促進して、価値創造力を強化する必要があります。
- 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地帯として、我が国の領域及び海洋利益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進等を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。

## プロジェクトの概要

人口減少による後継者や担い手不足が一層顕在化する中、我が国の食料安全保障及び地域の主要産業である農林水産業や食関連産業を営む「生産空間」の維持発展に向けて、広大な土地を活かした農業と多種多様で恵まれた水産資源を活かし、さらにロボット、AI、IoT等の活用によるイノベーションを加速させ、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保、水産資源生産力の向上、ポスト・コロナを見据えた産業振興を促進する物流ネットワークの強化等を図ることにより、高品質で安全・安心な食料供給力の強化を目指します。

## 主な取組

- 農産物の安定供給の推進
  - ・泥炭土に起因する地盤沈下の進行による湛水被害の解消等により、安全・安心な牛乳や畜産物の安定供給に向け、省力化や低コスト化を図ります。
  - ・農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保と農作業効率の向上を目指すとともに、農地の集積集団化や営農の組織化、先端技術を活用したスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。
  - ・老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進します。
  - ・集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりに対応するため、農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクトの推進）等を推進します。
- 水産物の品質向上
  - ・衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する施設の整備を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進を図ります。
  - ・離島漁港等の整備を推進し、離島水産産業の振興により地域活性化を図ります。
  - ・海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図ります。
  - ・産学官連携による留萌管内のナマコ資源活性化の取組を進めます（ナマコ資源活性化PF）。
- 物流ネットワークの充実
  - ・安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結び広域的な物流ネットワークの整備を推進します。

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【農業】
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・幌延地区）の推進
  - ・国営農地再編整備事業（東宗谷地区（R6完了予定））の推進
  - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【港湾】
  - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港・増毛港・天塩港・稚内港・枝幸港・鴛泊港・杓形港・香深港）
  - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（枝幸港）
  - ・小型船溜まり整備の推進（羽幌港・宗谷港）

## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 地域特性を活かした産業振興
- 離島地域の振興

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- ・地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- ・産学官金の連携による産業の創出・育成
- ・地域資源を活かした企業立地の促進
- ・ロシア極東との経済・文化交流の推進
- ・建設産業の経営力強化などの促進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

## 令和5年度の具体的な施策内容

- 【農業】
  - ・国営総合農地防災事業（機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能回復）（産土地区・勇知地区・幌延地区）
  - ・国営農地再編事業（ほ場の大区画化と排水不良解消）（東宗谷地区）
  - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【漁港】
  - ・漁船航行の安全性向上のための航路・泊地の水深確保、防波堤・防風柵等の整備（東浦・礼文西漁港）
  - ・漁獲物の品質向上及び衛生管理のための岸壁等の整備（東浦漁港）
  - ・漁港施設の長寿命化のための防波堤・岸壁等の補修（東浦漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港）
  - ・漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港）
- 【港湾】
  - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・天塩港・稚内港・枝幸港・鴛泊港・杓形港・香深港）
  - ・水産物流の効率化のための小型船だまりの整備（羽幌港・宗谷港）
  - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（枝幸港）
- 【道路】
  - ・物流ネットワークの安定及び定時性確保のための基幹的ネットワークの整備（国道40号天塩防災、国道232号小平防災、国道232号高砂橋架替、国道239号霧立防災、国道238号浜猿防災、国道238号幌別橋架替）

- 【漁港】
  - ・岸壁（衛生管理型）の整備推進（東浦漁港）
  - ・防波堤の整備推進（R4完了）（抜海漁港）
  - ・防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港）
  - ・防波堤、岸壁等の長寿命化対策のための補修工事の推進（東浦漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港）

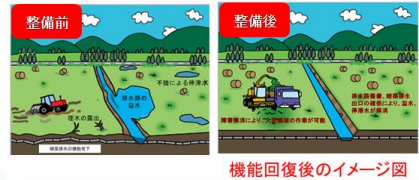
- 【道路】
  - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
  - ・国道232号小平防災の推進
  - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
  - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
  - ・国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
  - ・国道238号幌別橋架替の推進

- 宗谷地域は、わが国の乳製品、ホタテをはじめとする水産品の供給地として発展。
- 農業生産基盤整備では、排水路整備により農地の湛水被害を解消するほか、農地の大区画化による農業生産性の向上と営農の安定化に寄与。
- 漁港や港湾の整備では、全国漁獲量の約4割を占める宗谷地域のホタテを水揚げする漁船の係留や作業の効率化に寄与。
- 国道の整備では、地吹雪が多発する冬期でも生乳や水産物の物流の利便性、安全性、速達性向上に寄与。

## 農業生産基盤整備の取組

### 国営総合農地防災事業【勇知地区・幌延地区】

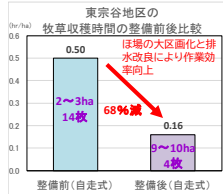
○機能低下した農地・農業用排水路の機能回復により、農業生産の安定化・国土保全に寄与



機能回復後のイメージ図

### 国営農地再編整備事業【東京谷地区】

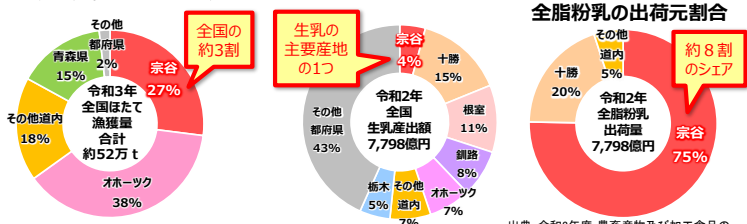
○農業生産基盤の整備・土地利用整形化により、農業生産性向上と農業経営安定化



## 事業実施による地域への貢献

- 全国漁獲量の約3割の天然ホタテの産地  
⇒漁港や港湾の整備、物流の利便性向上が相まって、ホタテ産地である宗谷・猿払・枝幸地域の所得向上に寄与
- 全国有数の乳製品産地  
⇒生産基盤の回復・向上による酪農の経営体質強化、乳製品の物流利便性向上と相まって、全国有数の乳製品産地として発展

▼ほたて漁獲量の全国シェア ▼生乳の農業産出額全国シェア ▼北海道で製造される全脂粉乳の出荷元割合



出典: 海面漁業生産統計、北海道水産現勢 (1); 令和2年市町村別農業産出額 (2); 令和3年度 農畜産物及び加工食品の移出実態調査結果報告書 (3)



乳製品 道内外へを配送

ホタテ 道内外へ輸送  
【新千歳空港・苫小牧港等へ】

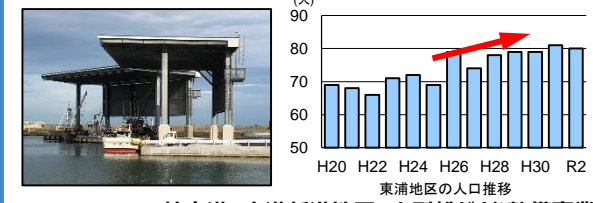


声 【水産加工販売会社】  
・活ほたては、新千歳空港まで輸送し、そこから海外に出荷しています。好まれる活ホタテは国によって異なり、中国では品質が良く大ぶりの宗谷産のホタテの需要が高いです。

出典: 稚内開発建設部調べ (牛乳生産工場、自治体・水産会社ヒアリング)

## 港湾整備、水産基盤整備の取組

- 東浦地区 特定漁港漁場整備事業  
⇒ホタテの生産体制の拡大や、衛生管理対策の推進により、安定的な生産が図られ、地域の生産空間の維持にも貢献。

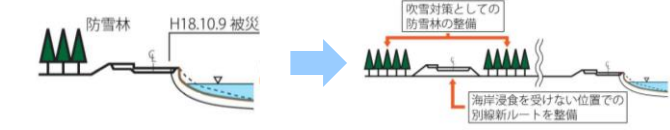


- 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業  
⇒ホタテの輸出促進を図るため屋根付き岸壁を整備し、品質・衛生管理の強化を図るほか、小型船だまり等を整備し、水産活動を効率化



## 道路整備事業の取組

- 国道40号 天塩防災事業  
⇒地吹雪による視程障害の低減を図り、道路の安全な通行を確保
- 国道238号 浜猿防災事業  
⇒海岸浸食対策、地吹雪による視程障害の低減を図り、道路の安全な通行を確保  
〔海岸浸食による被災〕 〔浜猿防災の海岸浸食対策工〕



# 道北広域観光活性化プロジェクト〔道北連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 大雪山、利尻・礼文・サロベツ国立公園、暑寒別天売焼尻国定公園や天塩川、層雲峡、日本海オロロンライン、富良野・美瑛など世界に誇れる豊かな自然環境や景観、多種多様な農水産物に恵まれた地域ですが、観光地が広域的に分散していることから、北海道7空港一括運営を活用し交通拠点との連結、軌道系アクセス新設等により観光拠点間のアクセスを向上させて観光地を周遊しやすい環境を整備するとともに、国内外の感染症の状況を見極め、需要を喚起しつつ広域的な連携を進めて、サイクルツーリズム、体験・滞在型観光、一度は訪れてみたい「聖地」づくりなど、地域の資源・特性を活かした多様な観光メニューの充実を図り、国内旅行とインバウンドの両輪により、持続可能で魅力的な世界水準の観光地域づくりを進める必要があります。また、地域に隣接するロシア連邦サハリン州、東南アジアとの観光経済交流を更に進める必要があります。
- 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地帯として、我が国の領域及び海洋権益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進等を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。



## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 離島地域の振興

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・雄大で美しい自然環境や多彩な食などの地域資源を活かした通年・滞在型観光地づくりや広域観光の推進
- ・外国人観光客の受入体制の整備・促進
- ・広域的なスポーツ、アウトドアイベントの開催やスポーツ・音楽合宿の誘致等
- ・これまでの広域連携を踏まえた空港を核とした観光客誘致の推進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

## プロジェクトの概要

地域の交流及び関係人口を更に増やし地域の活性化を図るため、北海道横断自動車道に繋がる道北地域の幹線道路ネットワーク整備等の推進及び地域内のアクセス性の向上を図るとともに、道北地域一帯を巡る観光ルートの開発に繋がる観光振興に配慮した基盤整備を行い、地域資源を最大限活用して、地域全体が広域的に連携した魅力と競争力ある観光地づくりを進め、国内外の新たな観光需要を取り込み、リピーターを増やし、観光客を北へ誘導する仕組みづくりを促進します。

## 主な取組

- 広域周遊型観光の促進
  - ・観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、サハリン州との交流促進のための空港機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備
- 観光資源の保護、育成
  - ・世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生
  - ・北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
- 観光振興に配慮した基盤整備
  - ・景観に配慮した道路整備の推進・河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進・食のブランド力向上のための農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進
  - ・移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出
  - ・広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した受入環境や観光案内の充実・無電柱化、交通安全対策の推進
  - ・外国人客4,000万人時代に向けたインフラ整備
  - ・人が集まる魅力的な場となる複合交流拠点づくりの推進
- 住民と連携した観光振興
  - ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進
  - ・地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開
  - ・水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリナビジョンの推進
  - ・地域住民とともに、みなどを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みたとオアシスの促進
  - ・地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しくー北海道」の推進
  - ・まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進

## 令和5年度の具体的な施策内容

- 【河川】
  - ・かわまちづくりの推進（名寄川地区）
  - ・自然再生事業の推進（天塩川）
  - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
  - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）
  - ・旭川十勝道路（富良野北道路）
  - ・国道40号音威子府バイパス
  - ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・国道452号五稜道路
  - ・国道39号比布大橋架替
  - ・国道237号 湯の沢橋架替
  - ・国道40号天塩防災
  - ・国道232小平防災
  - ・国道232号高砂橋架替
  - ・国道239号霧立防災
  - ・国道238号浜猿防災
  - ・国道40号稚内中央電線共同溝
  - ・国道40号稚内港電線共同溝
  - ・国道238号幌別橋架替
  - ・シーニックバイウェイの推進
- 【港湾】
  - ・観光地へのアクセス向上に資する航路の整備（留萌港）
  - ・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備（沓形港、香深港）
  - ・「みたとオアシス」の展開等、地域住民との協働による観光振興の取組の推進（稚内港、香深港、鷺泊港、沓形港、留萌港）
  - ・北防波堤ドーム予防保全事業の推進（稚内港）
  - ・「沓形港クルーズ船見送り隊」の取組の推進（沓形港）
- 【漁港】
  - ・地域マリナビジョンの推進
- 【農業】
  - ・国営農地再編整備事業（東京谷地区）の推進
  - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪山東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪山東川第二地区、旭東地区）の推進
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・幌延地区）の推進
  - ・「わが村は美しくー北海道」の推進
- 【共通】
  - ・地域パートナーシップ活動の展開
  - ・インフラツーリズムの推進

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
  - ・かわまちづくりの推進（名寄川地区）
  - ・自然再生事業の推進（天塩川）
  - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
  - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）の推進
  - ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
  - ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
  - ・国道232号小平防災の推進
  - ・国道39号比布大橋架替の推進
  - ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7開通予定）
  - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
  - ・国道452号五稜道路の推進
  - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
  - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
  - ・国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
  - ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進
  - ・国道40号稚内港電線共同溝の推進
  - ・国道238号幌別橋架替の推進
  - ・シーニックバイウェイの推進

- 【港湾】
  - ・観光地へのアクセス向上に資する航路整備の推進（留萌港）
  - ・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備の推進（沓形港・香深港）
  - ・北防波堤ドームの予防保全事業の推進（稚内港）
- 【空港】
  - ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了）（稚内空港）
- 【農業】
  - ・国営農地再編整備事業（東京谷地区（R6完了予定））の推進
  - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪山東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪山東川第二地区、旭東地区）の推進
  - ・国営総合農地防災事業（産土地区、勇知地区、幌延地区）の推進
  - ・「わが村は美しくー北海道」の推進

- 宗谷地域の魅力ある観光拠点間のアクセス向上が課題であり、幹線道路ネットワークの整備による周遊性の向上は観光活性化に寄与。
- 稚内港における受入環境の整備は、港湾の観光資源としての魅力向上のほか、クルーズ船の入港など観光活性化に寄与。
- 「宗谷シーニックバイウェイ」、「わが村は美しく-北海道運動」、「サイクルツーリズム・きた北海道ルート」、「みなとオアシスわっかない」などを通して、各種活動団体と連携した魅力ある観光空間づくりを促進。

## 港湾における受入環境の整備

### クルーズ船の受入環境の整備(稚内港)



### みなとオアシス わっかない



みなとオアシスエリアの各施設を交流・レクリエーションスペースとして市民や観光客に提供

## 多様な主体との連携による観光振興の取組

### 宗谷シーニックバイウェイ



### わが村は美しく北海道



### サイクルツーリズム

#### きた北海道ルート



## 宗谷地域の人気観光周遊ルート・観光地



## 事業推進による地域への効果

### ○宗谷地域内の周遊観光の増加

- ・密を避け、雄大な地を走れることから、宗谷管内に訪れる観光客のレンタサイクルの貸出台数が**毎年増加**
- ・令和4年度は、**関東を中心に**全国・海外から利用客が増加、眺望を楽しみつつ、宗谷岬等に来訪

#### ▼稚内市レンタサイクル事業(キタカラ) 自転車貸出台数の推移



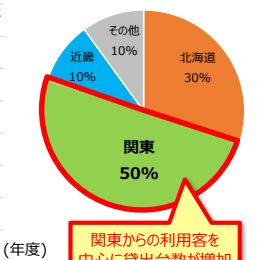
#### ▼豊富町レンタサイクル事業 自転車貸出台数の推移



▼日本のてっぺん(宗谷岬)を目指すサイクリストたち  
※海に向かっては「利尻富士」を一望



#### ▼稚内市レンタサイクル利用者の来訪方面割合(R4)



### ○広域観光周遊ルート「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」の形成

#### ▼宗谷への道内客・日帰り客観光入り込み客数の推移

